

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

## 取組の概要

取組の概要 : 種子馬鈴薯貯蔵の整備及び選別設備の整備  
計画作成主体 : 豊頃町農業再生協議会  
対象品目 : 馬鈴薯 (産地面積: 955ha)  
主な取組主体 : 豊頃町農業協同組合  
成果目標 : 販売額の10%以上の増加  
助成金の活用 : 整備事業 (種子馬鈴薯選別貯蔵施設)  
状況 : 生産支援事業 (ポテトハvester等)

## ポイント

種子馬鈴薯の町外向け出荷拡大及び町内の馬鈴薯作付面積の拡大に向け、町内に点在する種子馬鈴薯の選別・貯蔵施設を一元化することにより選別作業の効率向上、貯蔵能力の拡大・機能向上により馬鈴薯生産拡大に向けた体制を整備し、販売額13.9%以上の増加を実現。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

現状: H26年度

作付面積: 872.26ha (生産量: 31,536t)  
販売額: 94,757円 (10a当たり)

種子馬鈴薯の町外向け出荷拡大及び町内の馬鈴薯作付面積の拡大に向け、種子生産に係る労働力・貯蔵能力の不足が課題。

目標: H30年度

作付面積: 955ha (出荷数量: 34,877t)  
販売額: 107,962円 (10a当たり)

種子馬鈴薯の選別貯蔵施設の一元化による選別・貯蔵能力の拡大・効率化により種子馬鈴薯の生産拡大が図られ、種子馬鈴薯の町外向け出荷拡大及び町内の馬鈴薯作付面積の拡大に対応。

## 推進体制

地域の関係者(豊頃町、豊頃町農業協同組合、豊頃町農業委員会、農業共済組合、普及センター、農業関係者等)が一体となり、事業を推進。



## 事業効果

種子馬鈴薯選別貯蔵施設の再編整備により、町内に点在する施設を一元化し、生産者の労働力軽減と作業効率の向上、貯蔵能力の拡大・機能向上により、馬鈴薯作付面積の拡大、種子馬鈴薯の町外向け出荷拡大、販売額の増加が見込まれる。

貯蔵施設にはアスパレーションシステムを採用。種子馬鈴薯品質向上に繋がる。

販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、馬鈴薯の産地強化を実現。

